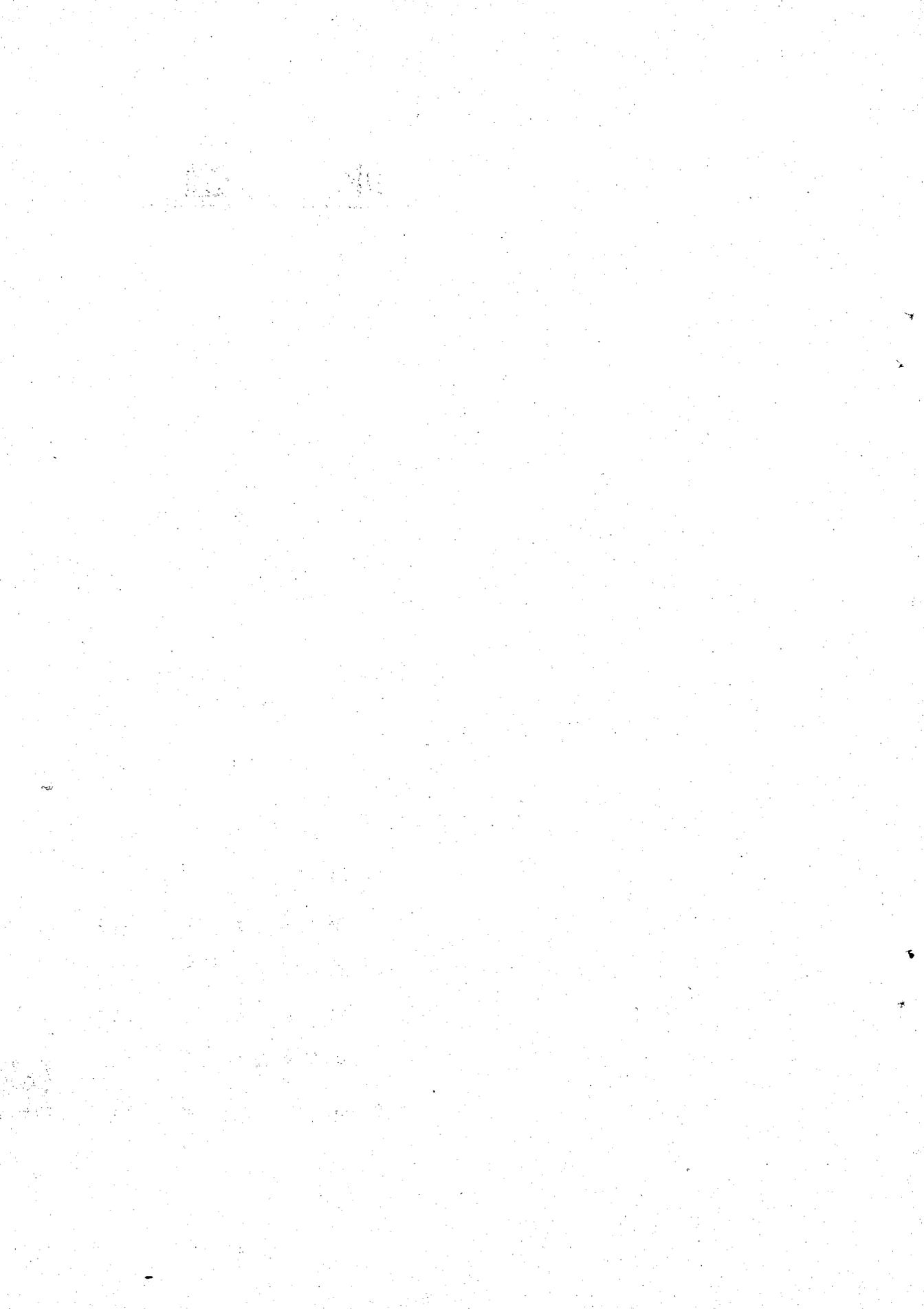


# 水道

---

1	沿	革	221					
2	事	業	概	要	223			
3	料	金	及	び	手	数	料	224
4	経	営	状	況	226			
5	職	員	数	及	び	給	与	226
6	施	設	227					



# 1 沿 革

水道の創設 明治22年、市制の施行により上水道設置の要望が高まり、明治43年、水源地調査費を、予算に計上、調査の結果八景水谷を、水源地とし、立田山を、配水池とする旨の結論を得た。しかしその後水利関係にからむ地元民の猛反対等で候補地も再三変更を余儀なくされ交渉は困難を極めたが、大正13年3月漸く地元民との了解が成り、同年11月工費約228万円で竣工通水をみたのである。その後配水管の布設等施設拡充が続けられたが、第2次大戦により資材は不足し建設改良も思うに任せず、空襲による被害は施設の老朽とあいまって事業運営に重大な支障をきたし、加えて終戦後の復員や引揚者による人口増加は必然的に配水能力の不足を招き、時間給水制限等を行なわざるを得ない状態となった。

第1次拡張工事 これに対処するため水源地の確保を主とした拡張工事が行われたが、まず第1期工事として、健軍に水源（健軍水源地）を求め、工費約250万円で昭和25年8月に竣工し、1日の配水能力も37,000 $m^3$ と大幅な増加を示した。

第2期工事としては、昭和41年度における給水人口200,000人、1日最大配水量60,000 $m^3$ を目標としたもので、工事の主なものは次のとおりである。

一本木水源地開設	工費 6,770千円	昭和 27年 11月竣工
亀井水源地開設	” 5,6090 ”	30年 3月 ”
立田山配水池増設	” 27,720 ”	31年 11月 ”

第2次拡張工事 これは昭和46年度における給水人口345,000人、1日最大配水量102,000 $m^3$ を目標とし、総工費7億6,000万円の5ヵ年継続事業として施行したものであり、主な工事としては、

徳王配水池開設	工費 27,840千円	昭和 35年 3月竣工
健軍水源地ポンプ室及び井戸増設	” 6,6030 ”	36年 3月 ”
川尻水源地開設	” 3,9020 ”	36年 9月 ”
立田山配水池増設	” 3,2760 ”	} 38年 3月 ”
城山水源地開設	” 2,6700 ”	
八景水谷水系井戸増設	” 4,0630 ”	39年 3月 ”
城山第2水源地開設	” 7,780 ”	40年 11月 ”

などであり、北部方面の高台地区、また急激に発展した東部地区への配水を円滑ならしめた。なお、未給水地域として懸案の川尻、高橋地区もそれぞれ給水を開始し、このため市周辺地区まで給水可能となった。

第3次拡張工事計画

第3次拡張工事を行なうことにより、本計画開始時における配水能力129,700m<sup>3</sup>より153,300m<sup>3</sup>上回る283,000m<sup>3</sup>の配水が可能となる。

認可年月日 昭和41年2月15日  
 期 間 昭和41年4月1日～昭和54年3月31日  
 目標年次 昭和55年  
 基本計画

計画給水人口 461,000人 1日最大配水量 283,000m<sup>3</sup>  
 1人1日最大配水量 614ℓ 1人1日平均配水量 476ℓ

事業内容

(昭48.4.1現在)

給水区	工種	工費	摘 要
北 東 部	取水施設費	400,993	さく井8本を設置、岩倉山に11,250m <sup>3</sup> の配水池を築造し清水町、楠団地、武蔵ヶ丘団地及び龍田町方面に配水する
	送水施設費	241,605	
	配水施設費	691,364	
	計	1,333,962	
北 西 部	取水施設費	197,738	さく井4本を設置し、徳王配水池に6,000m <sup>3</sup> の池を増設し、出町、京町、花園、島崎方面の高台地区一帯へ配水の円滑化を図る
	送水施設費	237,436	
	配水施設費	484,213	
	計	919,387	
中 部	取水施設費	387,988	さく井8本を設置し、万日山に3,500m <sup>3</sup> の配水池、また田迎町に、7,000m <sup>3</sup> の配水池を築造し、既設立田山配水池と併せて、旧市街地区の水圧低下を防止し、配水の円滑化を図る
	浄水施設費	74,995	
	送水施設費	450,282	
	配水施設費	1,568,447	
計	2,481,712		
東 部	取水施設費	459,829	さく井8本を設置し、健車水源地に2,400m <sup>3</sup> 及び沼山津配水ポンプ場に17,500m <sup>3</sup> の配水池を築造し、ポンプ圧送にて本荘、春日、大江、健車方面へ配水する
	送水施設費	117,890	
	配水施設費	3,463,096	
	計	4,040,815	
西 部	取水施設費	199,118	さく井4本を設置し、城山に2,000m <sup>3</sup> の配水池及び万日山に3,500m <sup>3</sup> の配水池(中部と兼用)を築造し、中島、小島、松尾、八島団地方面の配水の円滑化を配る
	浄水施設費	36,429	
	送水施設費	225,300	
	配水施設費	317,511	
計	575,588		
南 部	取水施設費	140,181	さく井3本を設置し、川尻水源地に800m <sup>3</sup> の配水池及び田迎町に7,000m <sup>3</sup> の配水池(中部と兼用)を築造し、川尻町方面の配水の円滑化を図る
	浄水施設費	44,000	
	配水施設費	369,313	
	計	553,494	
託 麻	取水施設費	150,963	さく井3本を設置し、小山山に3,500m <sup>3</sup> の配水池を築造し、旧託麻村の配水の円滑化を図る
	送水施設費	219,234	
	配水施設費	512,191	
	計	882,388	
一般附帯	工 事 費	1,167	
事 務	費	931,612	
総 合	計	11,720,125	(内起債額1,032,400千円)

## 2 事業概要

### (1) 給水普及状況

区分 年度	行政区域内(A)				給水区域内(B)				現在給水(C)	
	人口	戸数	普及率(C/A)		人口	戸数	普及率(C/B)		人口	戸数
			人口	戸数			人口	戸数		
43	432,716	124,181	80.3%	74.7%	414,611	119,816	83.8%	77.4%	347,605	92,702
44	434,596	130,544	82.2	74.6	417,805	126,585	85.5	76.9	357,000	97,319
45	443,557	130,393	83.3	79.5	424,394	125,902	87.1	82.3	369,487	103,593
46	447,200	132,955	84.0	81.3	427,982	128,430	87.8	84.2	375,602	108,076
47	452,558	136,139	82.3	83.6	441,576	131,505	85.1	86.5	380,252	113,810

### (2) 配水量

区分 年度	総配水量	1日最大配水量	1日最小配水量	1日平均配水量	1人1日最大配水量	1人1日平均配水量	最大月の1日平均配水量
43	36964685 m <sup>3</sup>	7/22 135216 m <sup>3</sup>	1/1 70,920 m <sup>3</sup>	101273 m <sup>3</sup>	389 ℓ	295 ℓ	125,107 m <sup>3</sup>
44	40614583	8/28 149,711	1/1 80,553	111,273	419	312	136,376
45	44505360	8/3 158,607	1/1 89,391	121,932	440	330	145,762
46	48053261	8/2 166,040	1/1 100,974	131,293	446	352	148,049
47	52595777	8/7 180,935	1/1 103,617	144,098	489	389	165,246

### (3) 有収水量と無効水量

区分 年度	総有収水量	1日平均有収水量	有収率	無収水量	無収率	総有効水量	1日平均有効水量	有効率	無効水量	無効率
43	27842648 m <sup>3</sup>	76281 m <sup>3</sup>	75.3%	38766 m <sup>3</sup>	0.10%	27881414 m <sup>3</sup>	76387 m <sup>3</sup>	75.4%	9083271 m <sup>3</sup>	24.6%
44	30,740,216	84,220	75.7	46,589	0.11	30,786,805	84,347	75.8	9,827,778	24.2
45	33,438,791	91,613	75.1	9,696.2	0.22	33,535,753	91,879	75.3	10,969,607	24.7
46	36,286,477	99,143	75.5	15,513.7	0.32	36,441,614	99,567	75.8	11,611,647	24.2
47	39,724,677	108,835	75.5	37,982.8	0.72	40,104,505	109,875	76.3	12,491,272	23.8

### (4) 水道管延長

区分 年度	導水管延長	送水管延長	配水管延長
43	2,665 m	13,837 m	708,553 m
44	2,665	13,837	755,350
45	4,316	14,655	805,116
46	5,835	15,596	846,588
47	6,064	17,204	901,871

### (5) 用途別給水量及び収入状況

(昭和47年度)

区分 事項	給水量	構成比率	収入	構成比率
	m <sup>3</sup>	%	円	%
家事営業用	33,878,265	85.28	1,083,905,340	85.23
湯屋用	225,593	0.57	3,480,310	0.27
官公署	2,447,563	6.16	7,807,204	6.14
学校	82,671.9	2.08	2,668,822	2.10
市関係	1,344,693	3.39	4,264,858	3.35
一時用	298,720	0.75	1,575,614	1.24
プール	52,670.2	1.33	1,661,496	1.31
共用栓	176,422	0.44	458,492	0.36
計	39,724,777	100	1,271,750,598	100

水道

㊦ 簡易水道

(昭48.4.1現在)

地区	通水開始年月日	水源の種類	配水設備	給水方式	給水戸数	給水人口
平	昭31.8.18	谷間湧水	容量30 <sup>m</sup> 1池 ろ過池 1池 口径 75mm	自然流下式	40	198

3 料金及び手数料

- (1) 水道使用料 昭和47年12月25日改訂  
昭和48年4月1日実施

用途別		区分	基本料金	従量料金	
				第1段	第2段
一般用	13mmから	8 <sup>m</sup> 以下	円	9 <sup>m</sup> 以上 30 <sup>m</sup> 以下 1 <sup>m</sup> につき 40	31 <sup>m</sup> 以上 1 <sup>m</sup> につき 44
	25mmまで				
	40mm	1,000	30 <sup>m</sup> 以下 1 <sup>m</sup> につき 40	31 <sup>m</sup> 以上 1 <sup>m</sup> につき 44	
	50mm	1,500			
	75mm	3,000			
	100mm	5,000			
	150mm	10,000			
浴場営業用	150 <sup>m</sup> 以下 2,000	151 <sup>m</sup> 以上1 <sup>m</sup> につき		15円	
共用給水装置	6 <sup>m</sup> 以下 1戸につき120	7 <sup>m</sup> 以上 1 <sup>m</sup> につき		22円	
一時用	1 <sup>m</sup> につき 95円				
私設消化せん	口径50mm未満20分以内1個1回につき		300円		
	口径50mm以上20分以内1個1回につき		600円		
連合専用給水装置	1戸につき一般用の料金を適用する				
簡易水道	平地区	総月額	11,696円		

- (2) 加入金 昭和48年4月1日実施

メーター口径	加入金(基準額)
13 m/m	10,000円
20	20,000
25	30,000
40	100,000
50	180,000
75	350,000
100	700,000
150	1,000,000

(注) 増径工事のときは現在の口径と新口径の差額となる

③ 手数料

- ① 設計手数料 1件につき 100円
- ② 竣工検査手数料1件につき 300円の範囲内で管理者が定める
- ③ 材料検査手数料
  - 鉛管類 1筋延長20メートルまで 20円  
5メートルを増すごとに6円を加算する
  - 各種給水管 1本につき 20円
  - 铸铁管、石棉セメント管  
その他75ミリメートル以上の管 1本につき 100円
  - 異型管制水弁、消火せん 1個につき 100円
  - 水せん類及び附属品 1個につき 10円
  - 水せん柱類 1個につき 10円
  - 各種給水管付属品類 1個につき 8円
- ④ 開せん手数料 給水開始のとき 1件につき 50円

④ 料金収納状況

(昭48.3.31現在)

区 分	人員	交 付 額		収 ・ 納 額		収 納 率		1人1ヵ月当り交付額	
		件 数	金 額	件 数	金 額	件数	金額	件 数	金 額
委託集金	56	1,151,320	895,400,832 <sup>円</sup>	1,040,391	813,769,522 <sup>円</sup>	90.3%	90.8%	1,713	1,332,441 <sup>円</sup>
整理集金	3	2,808	443,1050	2,740	432,3608	97.8%	97.6%	93	147,700
計	59	1,154,128	899,831,882	1,043,131	818,093,130	90.4%	90.9%	-	-

(注) ○修繕料を含む

○昭和42年4月1日委託業務開始

委 託 先 熊本市練兵町10番1号 株式会社肥後集金センター

委 託 件 数 月平均 9,592.8件 委託率 100%

委託手数料 徴収1件につき32円 (昭48.4.1改訂)

#### 4 経営状況

##### (1) 収益的収支の推移

(単位 円)

事項 \ 年度	43	44	45	46	47
総 収 益	94,488,194.2	1,038,546,474	1,146,288,734.1	1,238,495,894	1,331,204,288
料 金 収 入	89,531,993.4	987,860,903	1,079,199,107.1	1,170,732,113	1,271,750,598
そ の 他 収 入	4,956,200.8	50,685,571	67,089,627	67,763,781	59,453,690
総 費 用	79,514,212.8	903,656,124	1,092,972,492.1	1,257,459,968	1,452,688,938
職 員 給 与 費	41,339,103.1	46,793,824.8	55,509,361.8	67,373,160.8	75,333,883.9
電 力 費	7,328,956.3	8,261,490.3	9,472,660.5	10,645,208.8	12,225,161.7
物 件 費	2,865,631.8	2,837,311.6	3,340,382.9	3,472,771.4	3,335,388.6
減 価 償 却 費	9,843,190.6	11,171,809.6	12,309,810.9	15,396,982.0	17,791,237.7
支 払 利 息	6,087,791.3	7,668,239.6	10,218,320.2	13,793,240.0	17,278,745.2
そ の 他	1,204,953.97	13,632,936.5	18,446,712.9	15,064,633.8	19,304,476.7
単 年 度 損 益	14,973,981.4	13,489,035.0	53,316,242	△18,964,074	△121,484,650

##### (2) 資本的収支の推移

(単位 円)

事項 \ 年度	43	44	45	46	47
資 本 的 収 入	348,743,130	361,891,328	538,990,614	502,805,726	652,647,784
企 業 債	331,000,000	334,000,000	521,000,000	492,000,000	604,000,000
そ の 他 収 入	17,743,130	27,891,328	17,990,614	10,805,726	48,647,784
資 本 的 支 出	553,055,944	564,652,881	791,146,699	799,670,671	990,194,397
建 設 改 良 費	501,234,682	508,065,312	728,970,028	726,442,557	902,176,528
企 業 債 償 還 金	51,821,262	56,587,569	62,176,671	73,228,114	88,017,869
資 本 的 収 支 不 足 額	204,312,814	202,761,553	252,156,085	296,864,945	337,546,613

##### (3) 供給単価及び給水原価

(単位円/㎡)

事項 \ 年度	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
供 給 単 価	24.86	32.12	32.12	32.29	31.92	32.16	32.14	32.27	32.26	32.02
給 水 原 価	24.18	24.72	26.51	25.30	26.45	27.97	28.82	31.58	33.46	35.94
損 益	0.68	7.40	5.61	6.99	5.47	4.19	3.32	0.69	△1.20	△3.92

#### 5 職員数及び給与

##### (1) 職種別職員数

(昭48.4.1現在)

性別 \ 職種別	特別職	事務職	技術職	検 針	そ の 他	計
男	1	101	185	24	4	314
女	-	23	2	-	-	25
計	1	124	187	24	4	339

## (2) 職種別1人月平均給与額等

(昭和47年度平均)

事項	職種別					
	特別職	事務職	技術職	検 針	その他	計
基本給円	212,400	101,968	110,214	149,954	107,916	109,937
特殊勤務手当円	-	367	1,267	4,649	1,354	1,151
超過勤務手当円	-	2,807	12,799	4,881	14,312	8,567
期末勤勉手当円	57,210	39,758	44,512	58,850	44,229	43,760
その他の手当円	-	2,294	2,556	4,048	2,270	2,561
合 計円	269,610	147,134	171,348	222,382	170,081	165,976
年 齢(才)	59	38.6	42.3	47.9	52.0	42.5
勤続年数(年)	0.4	1.57	1.57	2.16	3.12	1.61

(注)計欄は特別職を除く

## 6 施 設

## (1) 水道施設

(昭48.4.1現在)

名 称		竣工年次	取水最大能力 m <sup>3</sup> /日	施 設 内 容	設 置 場 所
水 源 地	八景水谷水源地	大14.3	25000	浅井 2 深井 1 ポンプ7台	熊本市清水町八景水谷950
	亀井 "	昭30.3	10000	" 1 " 2 " 5"	" " 亀井63
	一本木 "	" 27.1.1	20000	" 1 " 2 " 5"	熊本県飽託郡北部町飛田315
	健軍 "	" 23.3	78000	" " 13 " 10"	熊本市水源町1
	川尻 "	" 36.3	6000	" " 2 " 6"	" 南高江町2743
	城山 "	" 36.1.2	8000	" " 3 " 4"	" 城山大塘町26
	麻生田 "	" 44.1	16000	" " 4 " 7"	" 清水町新地2102-2
	沼山津 "	" 43.7	20000	" " 4 " 6"	" 秋津町沼山津2974-1
	託麻 "		2000	" " 2 " 6"	" 小山町1079-2
配 水 池	立田山配水池	大14.3	22500m <sup>3</sup>	鉄筋コンクリート造り 5池	" 黒髪町下立田774
	城山 "	昭36.1.2	2630	" " 2"	" 城山上代町1113-1
	徳王 "	" 35.3	7500	" " 3"	熊本県飽託郡北部町徳王498
	岩倉山 "	" 47.3	7500	" " 2"	熊本市清水町兎谷361
	託麻 "		500	" " 2"	" 小山町3634
加 圧 ポ ンプ 所	立田山加圧ポンプ所	昭40.3	1500m <sup>3</sup> /日	ポンプ	2台 " 黒髪町下立田611-7
	花岡山 "	" 35.8	45	" "	3" " 横手町北岡自然公園内
	本妙寺 "	大14.1.0	282	" "	2" " 花園町本妙寺境内
	万日 "	昭41.9	84	" "	1" " 春日町万日
	島崎 "	" 38.6	15	" "	3" " 島崎町1119
	長迫 "	" 39.9	54	" "	2" " 池田町379-1
	大窪 "	" 36.1.0	96	" "	2" " 清水町大窪105-2
	岩倉山 "	" 40.3	11	" "	2" " " 兎谷367
	高平 "	" 40.8	96	" "	2" " " 高平113
	上松尾 "	" 43.6	126	" "	2" " 松尾町上松尾
	つつじが丘 "	" 44.1.0	12	" "	1" " 黒髪町宇留毛720
城内 "	" 44.1	12	" "	1" " 熊本城内	

## (2) 局 舎

所在地 熊本市水前寺6丁目2番45号  
敷地面積 9,344m<sup>2</sup>  
建物面積 延 3,480m<sup>2</sup>  
着工日 昭和37年12月28日  
竣工期 昭和38年12月20日  
構造 鉄筋コンクリート、地下1階、地上3階、塔屋1階  
施工費 龍建設株式会社  
総 工 費 19,062,133.5円

水道

